

宇宙の国際会議に参加しよう

第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)福井大会
宇宙教育・アウトリーチ関係者向け

宇宙教育アウトリーチセッション無料招待企画

2019年6月21日9時:u-1セッション, 11時u-2セッション

福井県福井市AOSSA 6F Room 601 A

企画概要

ISTSのセッションとして開かれている宇宙教育及びアウトリーチ活動に関する発表を取りまとめ2019年度大会では「Space Education and Outreach for the Benefit of All People」としてセッションの開催を予定しています。本セッションは教育とアウトリーチ活動に主眼を置くため、多くの教育関係者らや宇宙を専門としないユーザーからの発表並びに聴講を期待しています。発表は国内外より様々な取り組みが紹介され、多角的な視点からの発表がなされており、様々な事例を収集できる場となっております。そこで、より多くの教育関係者ならびにボランティアに活躍されている方々を本セッションに無料でご招待するアウトリーチ企画を立ち上げました。本企画では、地元の教育関係者等の参加の敷居を下げることを狙い、地元の教育・アウトリーチの分野で活動している人たちに招待券を発行し、無償でu)セッションを聴講可能とするu)セッションアウトリーチ企画を実施いたします。

無料招待者について

- ・宇宙教育に興味のある福井県の教諭, 高専生, 生徒(中学生以上を想定)
 - 登録の際に所属を入力することで判断いたします
- ・宇宙に関する公共性の高いアウトリーチ活動を実施している一般人
 - 登録の際にアウトリーチ活動実績の記述を必須とさせていただきます
- ・会場のキャパシティを考慮して先願性の事前登録で先着30名といたします
- ・当日の使用言語は英語です。通訳はありません。

無料招待者の特典

- ・無料でu)セッション(宇宙教育セッション)を聴講することが出来ます
- ・コーヒープレイクの利用と登壇者とのディスカッションすることが出来ます

無料招待者の応募方法

・インターネットによる事前登録を必須とするため、以下のGoogleフォームより登録してください。または二次元バーコードからも登録可能です。

<https://forms.gle/Yn7SvnERcmRwBtNQ6>



参加登録フォーム



ISTSポスター

お問い合わせ先

本企画に関する問い合わせ先
宇宙教育セッション小委員長
千葉工業大学 和田 豊
TEL:047-478-0513
E-mail:yutaka.wada@p.chibakoudai.jp

ISTS大会に関する問い合わせ先
ISTS事務局
TEL:03-3508-1256
E-mail:ists@convention.co.jp

u-1 International Space Education and Outreach Program (国際宇宙教育及びアウトリーチプログラム)

2019/06/21 09:00～10:40 AOSSA 6F Room 601 A

[2019-u-01] 09:00～09:20 [First Author] Wei Li (School of Astronautics, Northwestern Polytechnical University)
An Interdisciplinary Approach on Aerospace Comprehensive Graduation Project at Northwestern Polytechnical University, China

中国の北西工科大学での宇宙教育プログラムについての紹介

[2019-u-02] 09:20～09:40 [First Author] Mary Ann Zabanal Constante (Electrical and Electronics Engineering, University of the Philippines)

Space Science and Technology Proliferation in the Philippines through Nationwide University Partnerships

フィリピンは50kg級のマイクロサテライトDiwata-1とDiwata-2, および1U cubesat Maya-1の打ち上げに成功, フィリピンの人材育成を紹介

[2019-u-03] 09:40～10:00 [First Author] Guy Pignolet (Reunion Island Space Initiative)

Tour of the Moon: a Solar Sail Challenge

イカロスが実証したソーラーセイルを用いて, 地球から月に向かう宇宙ヨットレースを提案

[2019-u-04] 10:00～10:20 [First Author] Misuzu Onuki (Space Access Corp)

Moon Village Association Outreach for the Economic Development of the Moon

持続可能な月での人間による経済活動を行うムーンビレッジコンセプトを提案

[2019-u-05] 10:20～10:40 [First Author] Makoto Yoshikawa (Institute of Space and Astronautical Science, Japan Aerospace Exploration Agency)

Public Relations and Public Outreach of Hayabusa2 Mission

Haya2NOWというWebサイトでリアルタイムでHayabusa2の状態を配信

u-2 Space Education Program for Japanese Students (日本学生向け宇宙教育プログラム)

2019/06/21 11:00～12:40 AOSSA 6F Room 601 A

[2019-u-06] 11:00～11:20 [First Author] Jun Nakaya (Department of Mechanical Engineering, National Institute of Technology, Gifu College)

Development of the CubeSat Ground Model Extended from CanSat: Application to Space Education at KOSEN

CanSatから拡張されたCubeSat地上モデルの開発: KOSENにおける宇宙教育への応用

[2019-u-07] 11:20～11:40 [First Author] Makoto Wakabayashi (National Institute of Technology, Niihama College.)

Report on the KOSEN Space Camp in 2017 and 2018: Mission CanSat to CubeSat Model

2017年と2018年に行われたKOSEN宇宙キャンプの実施報告

[2019-u-08] 11:40～12:00 [First Author] Masahiro Tokumitsu (Department of Electronics and Control Engineering, National Institute of Technology, Yonago College)

A Report on Satellite Communication Lectures in the KOSEN Space Group

2018年に2回実施したKOUSN宇宙グループによる衛星通信講座について報告

[2019-u-09] 12:00～12:20 [First Author] Hideki Uchiyama (Shizuoka University)

Trial of New Educational Usage of a Nano Satellite: Workshop of Stars-AO Observation Planning for High and Junior-High School Students

ナノサテライトの新しい取り組み: Stars-AO衛星による中高生のための観測計画に関するワークショップ

[2019-u-10] 12:20～12:40 [First Author] Masaya Nakahara (Ehime University)

Study on Development of a Small Hybrid Rocket with 3D-printed PLA Fuel as an Educational Material

カーボンニュートラルな生分解性ポリエステル用いた教育用小型ハイブリッドロケットを提案